

单元計画

6月 11日 練習①「SNSによる発信の自由と規制」
| 18日 ピアレビュー

7月 9日 練習②「持続可能な開発目標—現在のわが国が抱える問題とそれに対する取り組み」
| 16日 ピアレビュー

9月 10日 演習問題（人文系・社会系・総合系の3分野）
| 17日
24日

【問題】

次の資料を読んで、あとの問い合わせに答えよ。

SNSは、ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）の略で、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことです。友人同士や、同じ趣味を持つ人同士が集まったり、近隣地域の住民が集またりと、ある程度閉ざされた世界にすることで、密接な利用者間のコミュニケーションを可能にしています。最近では、会社や組織の広報としての利用も増えてきました。

多くのSNSでは、自分のホームページを持つことができ、そこに個人のプロフィールや写真を掲載します。ホームページには、公開する範囲を制限できる日記機能などが用意されており、アプリケーションをインストールすることにより、機能を拡張したりすることもできます。その他、Webメールと同じようなメッセージ機能やチャット機能、特定の仲間の間だけで情報やファイルなどをやりとりできるグループ機能など、多くの機能を持っています。さらに、これらの機能はパソコンだけではなく、携帯電話やスマートフォンなど、インターネットに接続できるさまざまな機器で、いつでもいろいろな場所で使うことができます。

(総務省HPより)

現在、SNSを利用して個人が社会に向けて直接意見を発信することが容易になった。その一方で、個人が発信する情報の中には、疑わしいものや人を傷つけるようなもの（誹謗中傷）が含まれている場合もある。そのため、SNSを運営する企業が個人のアカウントを停止するなどの規制を行うケースも生じている。SNSによる発信の自由と規制について、あなたの考えを600字以内で論じなさい。

【問題】

「持続可能な開発目標」(SDGs)は、2015年に国連総会で採択された、2030年までに達成することを目指した、持続可能な開発のための17の国際目標である。現在、2030年の達成期限を前に「ポスト SDGs」(ポストとは、「～の後の」「次の～」の意味)の議論も始まりつつある。「持続可能な開発目標」の中から、目標を一つ取り上げ、それに関する現在のわが国が抱える問題とそれに対する取り組みについて、あなたの考えを600字以内で論じなさい。

7月16日（火）授業時までに完成させておくこと。



小論文① SNS

- ・評価のポイントとしては、①出題の意図を理解しているかどうか、②論理性、③表現力
- ・主題の提示、具体例の提示と考察、反論への顧慮、主題の再提示

解答例 ①—1

表現の自由を守ることは、民主主義社会にとって重要なことであり、新しいメディアでもあるSNSでの発信においても、表現の自由は重視されるべきだと考える。なぜならSNSを用いて一人ひとりが意見を自由に発信できることは、権力や権威に屈すことなくすべての人が尊重される健全な社会を構築することにつながるからだ。

例えば、アメリカの女優たちが映画プロデューサーによるセクシュアルハラスメントを訴えたことに端を発した#Me Too運動は、世界的な広がりをもたらした。それまで表沙汰にされにくかった問題に対して、SNSを利用して多くの女性が声を上げ、健全な社会の構築に寄与した一例である。これは個人が開かれた世界に対して自由に意見を発信できるSNSならではの力である。

一方、疑わしい情報や人を傷つけるような情報が拡散される事例を問題視し、規制が必要だとする意見もある。しかし、その規制をする主体の判断が常に正しいとは言えず、自らの利益に反する発言をする人のアカウントを停止したり、発言を削除したりすることにも発展しかねない。そのような危険性をはらむ言論の統制は、すべての人が尊重される健全な社会の構築を阻む可能性がある。

民主主義社会では、SNSにおいても表現の自由は最大限守られる必要がある。その自由を正しく行使するために、発信者は良識と責任を持って、よりよい社会を築くことにつながる発信をしていかなければならない。

解答例 ①—2

SNSによって私たちは、自分の意見を社会に直接発信できるようになった。しかし、疑わしい情報や人を傷つけるような情報で社会や個人に害をもたらすケースがある以上、何らかの規制を行うことを重視すべきである。

SNSで自由に発信できることの問題点は、他者によるチェックが入らないまま直接社会に対して発信でき、歯止めがきかなくなることである。マスメディアが行っているような発信者のチェックが行われないままの情報は多分に主観的であったり根拠薄弱であったりするが、いったん発信された情報はそこから独り歩きを始める。コロナ禍における人種差別につながるようなデマや、他人を自殺にまで追い込む誹謗中傷の拡散事例は多くの人が見聞きしている。このような重大な問題をはらむ情報は、SNSの運営企業が責任を持って規制すべきである。

確かに、表現の自由が失われると民主主義そのものが危険にさらされることになるため、表現の自由は最大限に守られるべきだという意見もある。しかし公共の場に意見を示す以上、一定の客觀性や信憑性が必要であり、それを維持するためには規制やルールが必要となる。

社会を混乱させたり個人の尊厳を損ねたりする情報の拡散を防ぎ社会の秩序を維持するためには、SNSの運営企業が責任を持って一定の規制をしなくてはならない。検索エンジンを用いて不適切なワードを検知し、すばやく削除するといった手法で対応するべきだと考える。

小論文② SDGs

- ・評価のポイントとしては、①出題の意図を理解しているかどうか、②論理性、③表現力
- ・問題点の提示、考察、解決策の提示

解答例 ②—1

私は十一番の「住み続けられるまちづくりを」について論じる。近年の日本は少子高齢化の中で地方の過疎化が進んでいる。そうした地域では電車や路線バスが廃止になり、買い物や病院に行く手段が確保できない高齢者が増えている。また過疎化にとって地域コミュニティが希薄化し、災害時の助け合いにも課題が生まれている。このような問題を抱える地域社会を再生し、持続可能なまちづくりに取り組む必要がある。

地方の過疎化の背景には経済的要因がある。地方では地場産業が衰退し、就職先を求めて都市部に移住する若者が多い。それが商店の廃業や公共交通機関の廃止、地域交流の機会減少につながるという負の連鎖を生んでいる。それゆえ問題の解決には地域経済の再生が欠かせない。地域の地場産業や観光業を自治体が資金面で支援したり、次世代ロボットや自動運転車の研究拠点を誘致したりして、若者が生まれ育った地域で働きたいと思えるまちにしていくことが必要だ。過疎化した地域に今住んでいる高齢者をどう支援するかという視点だけでは、住み続けられるまちづくりを実現することはできない。地域社会を再生し、地域コミュニティの深いつながりも実現させてこそ、安心して住み続けることができるのだ。

地域経済を再生して住み続けられるまちづくりを実現するためには、自治体が資金面だけでなく政策やアイデアの面でも支援することが必要だと考える。

解答例 ②—2

私は十四番の「海の豊かさを守ろう」について論じる。近年、世界的にプラスチックごみの海への流入が問題になっている。日本近海には世界平均の二十七倍にも相当するマイクロプラスチックが漂っているという調査もあり、すでに生態系に入り込んでいる可能性が高い。

海に流れ込んだプラスチックは自然に分解されることではなく、海鳥や魚が誤食して死ぬなど生態系に悪影響を与える。特に微小なマイクロプラスチックは摂取した海洋生物の食物連鎖の中で濃縮され、それらを食べる人間の健康をもむしばむ。また海の生物多様性の喪失は漁業を衰退させるなど、日本の産業にも悪影響を与える。海洋プラスチックごみの原因としては、プラスチックの利用の多さや廃棄処理の不適切さが考えられる。したがって、問題解決のためには、行政や企業、消費者といったさまざまな関係者が連携して取り組むことが大切だ。行政は洗顔料などへのマイクロプラスチックビーズの使用を規制するべきであり、企業もプラスチック製ストローの使用をやめるなどプラスチックごみの削減に取り組む必要がある。そして消費者はプラスチックを分別して廃棄し、適切にリサイクルするようにすることが大切だ。

海に流れ込み蓄積する一方のプラスチックごみをこれ以上増やしてはならない。私たちの生命を支える海の豊かさを守るために、プラスチックの利用や廃棄の方法を日本社会全体で見直す必要がある。

【問題】

「持続可能な開発目標」(SDGs)は、2015年に国連総会で採択された、2030年までに達成することを目指した、持続可能な開発のための17の国際目標である。現在、2030年の達成期限を前に「ポスト SDGs」(ポストとは、「～の後の」「次の～」の意味)の議論も始まりつつある。「持続可能な開発目標」の中から、目標を一つ取り上げ、それに関する現在のわが国が抱える問題とそれに対する取り組みについて、あなたの考えを600字以内で論じなさい。



私は(　)番の「(　)」について論じる。

問題点の提示、考察、解決策の提示（インターネットを使って調べよう）

メモ